

企業で取組む一人一花運動 早良病院「チームさわら」

## 花と人、人と人、人とまちをつなぐ 花笑み通り花壇 1・2 ページ

この街がすきだから ホークスも一人一花

## ホークスガーデン 誕生! 3・4 ページ

- 花壇を通して  
あたたかな人の輪が  
育っています。  
ウエルカムガーデン姪浜駅南
- 第17回  
花と緑のまちづくり賞決定!
- 緑のコーディネーター  
ご紹介
- 一人一花ハッスル事業  
はじまる!
- 民有地緑化助成





# 花と人、人と人、人とまちをつなぐ 花笑み通り花壇



## 患者さんや地域の方々の癒しの場をつくりたい



事務部長  
松尾 徹さん

総務課係長  
磯谷 智仁さん

千日紅やペゴニア、ケイトウの鮮やかな赤と、セルシアの涼しげなパールブルーのコントラストが美しい早良病院の花壇。姪浜駅の北側、明治通りとマリナ通りの二つの幹線をつなぐラインに位置するこの花壇は、病院の利用者だけでなく、道ゆく多くの人の目を楽しませてくれます。実はここ、つい1年前までは放置されていたというから驚きです。見事な変身を遂げた理由は、一人一花運動（一企業一花壇運動）への参加にありました。「一人一花運動を始めたのには、いくつか理由があります。まず、リハビリ患者さんの憩いの場となるように。そして、地

域のみなさんの癒しとなるように。また当院の病棟患者さんと話をさせていただくボランティアさんを募りたいという思いもありました。このボランティアは事前研修が必要のため、ハードルが高いと感じる方が多いんですね。花の苗植えをきっかけに抵抗なくボランティアに参加できればと考えたんです。とはいえ、花壇造りのノウハウは全くなかったので、土作りや何を植えるかなど、イチから緑のコーディネーターさんに教えていただけて、助かりました」と早良病院・事務部長の松尾さんは当初を振り返ります。

春の花壇

### BEFORE      ステップ1      ステップ2      ステップ3      現在

もともと7つあった花壇が放置され、ガザニアがはびこっている状態。

一人一花運動に参加。土作りや花の選定など、緑のコーディネーターに相談。

指導を受けながらサンプルとなる花壇をひとつ作成。

病院スタッフの有志で花壇作りを進める傍ら、看板やチラシなどでボランティアを募る。

活動1年目。7つの花壇には季節の花が咲き揃い、リハビリ患者や通勤通学者の目を楽しませている。近隣住民や大学からのボランティアも集まり始める。

## 一花のマツバボタンから… 病院、学校、地域が一丸となって

「一つ目の花壇を造った数日後のことでした。下校途中の小学生が『花が咲いてるよ』って知らせてくれたんです。うれしかったですね」と日焼けした顔をほころばす松尾さんは、花壇をきれいに保っていくための数々のアイデアを実践しました。

7つの花壇をそれぞれチーム制にすることでやる気を後押ししたり、地域住民に認知してもらえるよう花壇のある通りに通称をつけたり、看板やチラシでボランティアを積極的に募集したり…。その甲斐あって西日本短期大学の緑地環境学科とのタイアップも実現。地域のボラン

ティアの方も集まり始めました。「若い人が来てくれると、リハビリ患者さんもパワーをもらえるんですね。学生さんに来ていただけるのはありがたいです」と総務課係長の磯谷さんも笑顔に。

「おかげさまで、地域の方々にはかなり認知していただけるようになって来ました。今後は、いかにこの活動を継続していくかです。将来的には、倉庫に道具を常備しておき、いつでも誰でも花壇の世話ができるようにしたいと考えています」と松尾さん。手入れを終え、ひときわ、きれいになった花壇から笑顔と元気が広がっていきます。

早良病院事務部長 徳安さん

花の植え替え作業をしていると、通りかかった方から「次は何を植えるの?」と聞かれることも。隣接するマンションの方からもチェックされていますよ(笑)。花壇を作って一年でかなり定着してきましたね。



下村さん(左)  
佐野さん(右)

私たちは(緑のコーディネーターの)石井先生のガーデニング講座の受講生で、本日、初参加しました。とても楽しかったし、いろいろ教えていただいて勉強になりました。

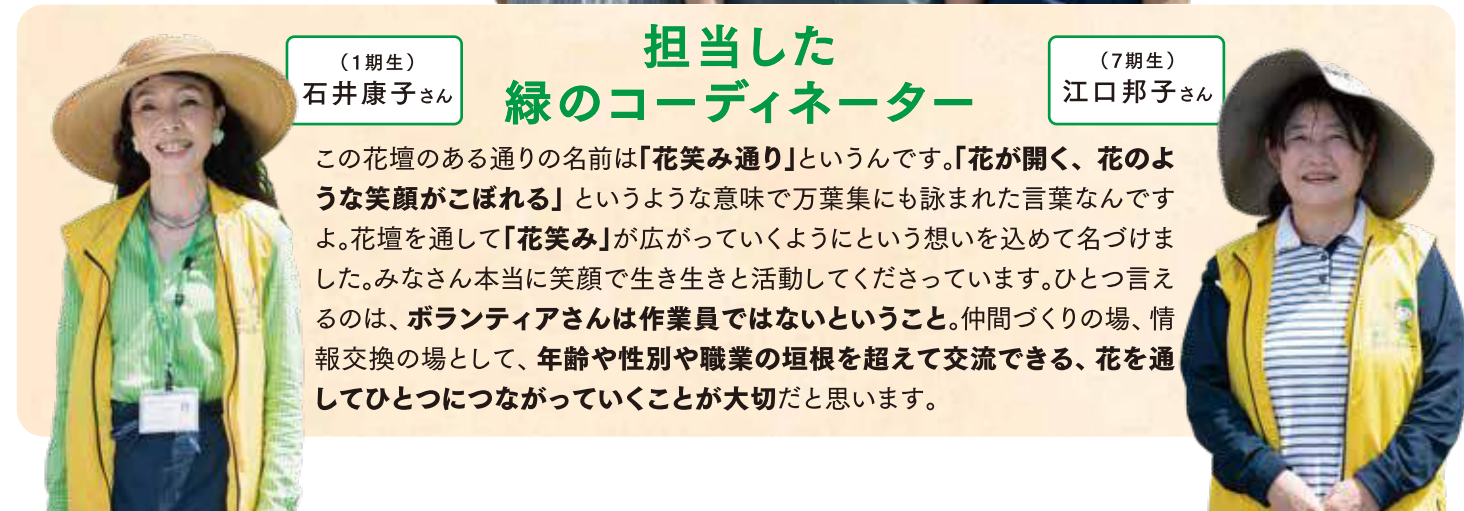
西日本短期大学  
緑地環境学科講師・園芸療法士  
菊川さん(左)

看板を見てご連絡したところ、即、対応してもらえて、すぐに始動できました。活動に参加することは学生たちの生きた勉強にもなります。医療機関、教育機関、地域社会が包括的にひとつのプロジェクトを進めていくのは、これからの時代の流れではないでしょうか。



緑地環境学科2年  
橋本さん(左中央)  
小渡さん(右)

花壇のデザインをさせていただくことになりました。きれいな花を植えて、利用者さんに癒しを与えるような空間をつくりたいです。



(1期生)  
石井康子さん

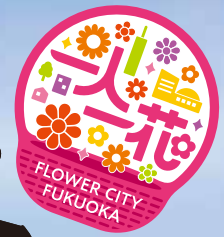
## 担当した 緑のコーディネーター

(7期生)  
江口邦子さん

この花壇のある通りの名前は「花笑み通り」というんです。「花が開く、花のような笑顔がこぼれる」というような意味で万葉集にも詠まれた言葉なんですよ。花壇を通して「花笑み」が広がっていくようにという想いを込めて名づけました。みなさん本当に笑顔で生き生きと活動してくださっています。ひとつ言えるのは、ボランティアさんは作業員ではないということ。仲間づくりの場、情報交換の場として、年齢や性別や職業の垣根を超えて交流できる、花を通してひとつにつながっていくことが大切だと思います。







5ゲート前大階段の間  
「グリーティングガーデン」

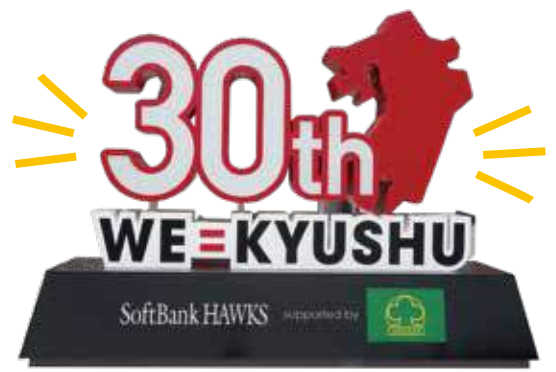


# ホークスガーデン誕生!

福岡ソフトバンクホークス株式会社は、本拠地の九州・福岡移転30周年の記念事業として、世界的庭園デザイナー石原和幸氏(株式会社石原和幸デザイン研究所代表)監修による福岡 ヤフオク!ドーム(以下、ヤフオクドーム)外周のガーデン化を実施。「ホークスガーデン」が完成しました!

## ホークスも一人一花

「ホークスガーデン」は、ヤフオクドームに来場の皆様に、季節ごとに色とりどりの表情を見せる花壇を楽しんでいただけるように新設されました。今後は、みんなで力を合わせて花と緑を育て、彩りや潤いにあふれ、おもてなしと豊かな心が育まれる街「フラワーシティ福岡」を創る福岡市の取り組み『一人一花運動』に、福岡ソフトバンクホークスも参加します。



30周年のモニュメント

実がなる	紅葉する	香りがする
ソヨゴ ナンテン ヤマボウシ	モミジ ハナミズキ ヒメシャラ	ジンチョウゲ クチナシ ゲッケイジュ
		
ナンテン	モミジ	クチナシ

## コンセプト

九州には365日美しい季節の表情があります。豊かな緑と彩りある花で、四季があり、鳥や蝶が飛ぶ自然を創出するという考えのもと、花が咲く木、実がなる木、紅葉する木、香りがする木など多種類の樹木や草花を配置し、皆さんが季節や癒しを感じられる花壇を造りました。

## 「ホークスみんなのガーデン」ガーデニングコンテスト開催!

「外周デッキ」の6~7ゲート前にて3月28日より募集開始していた「ホークスみんなのガーデン ガーデニングコンテスト」の最終審査・表彰式が6月30日(日)に執り行われました。ホークスの九州移転30周年にちなみ「30年間のありがとう」をテーマにした作品が数多く寄せられ、その中から20団体の作品が入選作品として今後約1年間、ヤフオクドームを彩ります。また、その20作品の中から最優秀賞やホークス賞など4賞が選出されました。



最優秀賞は「(株)グッデイ」様による『ホークス通信〜福岡花想い〜』です。受賞花壇の前で記念撮影!



ガーデニングコンテストの審査風景



ガーデニングコンテストが行われた「ホークスみんなのガーデン」をはじめ、各エリアには季節を感じられるたくさんの花を植えて育てています。もちろん野球も楽しみながら、ヤフオクドームにお越しの際は花や緑にいやされてください!



# スポンサー花壇へのご協賛ありがとうございます。

スポンサー花壇とは、市民や観光客をはじめ、多くの人が訪れる都心部に、  
うるおいを与え、花と緑でおもてなしをするために、花壇の維持管理を企業に協賛いただく仕組みです。

協賛企業の中には、花壇の管理費用の他に、  
ボランティア団体の活動費やイベント開催費などを協賛いただく

「プレミアムスポンサー」や「ゴールドスポンサー」もあります。

詳しくは裏表紙をご参照ください。





# 花壇を通して あたたかな人の輪が 育っています。

姪浜駅南側モニュメント周辺の花壇の花は、  
私たち「ウエルカムガーデン姪浜駅南」が  
大切に育てています！

ウエルカムガーデン  
姪浜駅南



## 土作りから始めたから 愛着もひとしおです。

「おはようございま〜す」元気に挨拶を  
交わしながら、福岡市西区姪浜駅に続々と  
集まってくるのは「ウエルカムガーデン姪  
浜駅南」の面々。活動メンバーは約30名。  
姪浜の玄関口を美しい花で彩り、訪れる  
人々に喜んでもらいたいという想いで、  
平成17年から活動を続けています。

きっかけは同年に開催された『アイラン  
ド花どんたく』。当時、福岡市の七つの区に  
それぞれ花壇を造る「ウエルカムガーデ  
ン事業」がスタート、西区では姪浜駅南側  
モニュメント周辺に花壇を造ろうというこ  
とになり、地域に住む花好きな有志が集  
まったのが始まりだそうです。

「当初、モニュメントの周辺は荒れ地で、

とても花を植えられるような状態ではな  
かったので、土作りから始めたんですよ。  
みんなで力を合わせながら十数年もかけ  
て今のようなきれいな花壇に造りあげた  
のですから愛着もひとしおです」と当初か  
らの会員の方は目を細めて花壇を眺めま  
す。花苗の植え替えなどの大がかりな活  
動は月に一回ですが、草とりやゴミ拾いな  
どは気がついた人が率先して行なってい  
ます。花壇は駅前であり、人の往来が盛ん  
なので「いつもご苦労さま」「きれいで  
すね」などと声をかけてくれる人も多く、励み  
になっているとか。

おそろいの  
エプロンは  
鮮やかな  
緑色



## 健康維持や地域交流に 役立っています。

「ひと汗流しながらみんなと会話できる  
のがいいですね」「食事がおいしくなります」  
「花壇の手入れを通して仲良くなり一緒に  
バスツアーに出かけたりしましたよ」  
みなさんの顔は一様に晴れやか。活動は  
会員の健康維持や地域交流にも一役買っ  
ているようです。

この日は、次のシーズンへ向けての花苗  
の植え替えを行いました。咲き終わった花が  
らを丁寧に摘む人、水撒き用のホースを準  
備する人、穴を掘って苗を植える人、草木の  
剪定をする人…さすが十数年も続けている  
だけに会員のみなさんの連携がしっかりとさ  
れており、1時間ちょっとで終了。花壇は優  
しい色調の春の花に替わって強い日差しに  
映える鮮やかな花々に彩られていました。  
「まだ少し剪定作業などが残っていますが、無理をしないのが長続きのコツ」と会員  
の方は語ります。

春はパンジーやマーガレット、夏はサルビ  
アやマリーゴールド、秋は西区の花でもあるリ  
コリス、冬は葉ボタン…というように季節を感じ  
られる花を植えるようにしているとのことなの  
で、季節ごとに訪れてみたいくなります。

目下の課題はメンバーの高齢化。スタート  
時は50~60代だったのが70~80代を迎  
え、さすがに体力的に厳しくなりつつあるもの  
の、愛着のある花壇なので、できるところまで  
は継続しようと奮闘中です。昨年から地域の  
子ども会と一緒に活動を試みるなどメンバー  
の若返りと活動の継続のための方法を模索  
中だといいます。

そんな中「毎日、通勤途中できれいな花壇  
に癒されていたので、何かお手伝いできれ  
ば」と、この日初めて参加した女性もいて、あ  
らためて花の持つやさしい力に気づかされる  
一幕も。これからも花を通して、やさしくあた  
たかな人の輪が広がっていきますように。

力がない人でも  
できるように  
道具も揃っています。



活動のあとは  
達成感を感じながら  
お茶で一服





# 第17回 花と緑のまちづくり賞 受賞団体決定

花と緑のまちづくり賞は、花と緑によるうるおいのある美しいまちづくりを推進するため、花と緑のまちづくり活動に顕著な功績のあった団体を表彰するものです。令和元年7月8日に審査委員会を開催し、本年度の受賞団体が決定しました。

## 花と緑のまちづくり賞 大濠公園ガーデニングクラブ

評価された点

### 合言葉は「人の足音はお花の肥料」 福岡の顔、大濠公園にある 多年草を中心にデザインされた花壇

多くの人で賑わうポートハウス前にあり、高さ、ボリューム、バランス、花の色等、様々な角度から楽しめる、周囲の景観にマッチしたデザインの花壇でした。また、多品種の宿根草を花壇の9割に配置して植え替えの経費と手間を抑える一方、デザインを守るため成長に合わせた管理を計画的に実施すること、一年草を上手に取り入れること



で、四季を通じてボリュームが保たれています。

また、QRコードによる花の紹介、民間企業の助成金を活用、企業ボランティアの受け入れ等、団体の活動サイクルが円滑に回っている点が高く評価されました。



活動場所：中央区大濠公園 200㎡  
会員数：32名  
結成：平成17年  
活動頻度：1回/週(植替え…2回/年、草取りと水やりは適宜)

#### 活動のきっかけ・目的

福岡市民だけでなく、県外や海外からも沢山の方が訪れる、福岡市の顔ともいえる大濠公園で、四季折々の美しい花が咲き誇る花壇を作りたいと活動を開始。会員同士や来訪者の方たちと花壇を通してコミュニティが生まれ、心のつながりも育んでいきたいと日々活動している。

## 共創のまちづくり特別賞(学校部門) フラワーアップ高宮

評価された点

### 地域、PTA、児童とみんなで作る 小学校外周花壇 「思いやりロード」

地域の有志である団体、児童、PTAが力を合わせての活動であり、学校の協力体制も整っているなど、成熟してバランスがとれた無理のない花壇活動が長年続けられています。

毎年5年生が11月中旬にチューリップの球根を植え、綺麗に咲いた花で卒業生を送り出し、新1年生を迎える活動や、学校の外周花壇整備を通じて地域の



まちづくりに大きな影響を与えている活動は、小学校における花づくりのモデルとなる活動として広めていきたいと、今回の受賞につながりました。



活動場所：中央区高宮小学校の外周花壇 117㎡  
会員数：15名 (延長122m)  
結成：平成23年  
活動頻度：1回/月(植替え…2回/年、草取りと水やりは適宜)

#### 活動のきっかけ・目的

高宮小学校PTAの環境美化委員が手入れをしていた小学校外周花壇を、花づくりに詳しい地域の有志がサポートするために活動を開始した。多くの人が行き交う小学校の外周花壇を整備することで、自分達の住むまちを明るく元気にすることを目的に活動を行っている。

## 花と緑のまちづくり賞 箱崎花の会

評価された点

### 「花で明るくきれいな街並みに！」 幅広い世代が応援する 校区あげての花づくり

街路樹が枯れ、雑草が繁茂し、ごみが捨てられているというマイナスの環境から活動をスタートし、その後も点在している花壇への水やり等は非常に苦労があるなか、花期が長く見栄えのする一年草で地域の道路沿いを彩る花壇管理を地道に長年継続していることが、規模感やデザインだけではなく評価されました。



最近では地域の小学生やPTAを巻き込んだ活動に発展しており、地域の環境を守っていく次世代の育成にもつながっています。



活動場所：東区箱崎校区内の街路花壇 100㎡  
会員数：12名 (延長約600m、36箇所)  
結成：平成20年  
活動頻度：2回/月(植替え…2回/年、草取りと水やりは適宜)

#### 活動のきっかけ・目的

街路樹が枯れて雑草が繁茂し、ゴミが捨てられている状況にあった道路沿いの植樹帯において、当時の自治連合会長を中心に花づくり活動を開始した。この活動により地域の環境美化を進めるとともに、住民の環境に対する意識を高める事を目的として活動を続けている。

## 総評

多くの活動を拝見し、地域の方々の地道な取り組みがこれほどまでに都市景観を温かく彩り、街並みを清潔にし、地域ひいては国土を保全するものであることに深い感銘を受けました。清掃から始めた住民活動の鏡のような街路、マンションの街路を庭のように慈しみ育てる団体、駅の中庭に季節を告げる植栽、福岡のセントラルパークとも言える舞鶴公園のシンボル花壇と花苗頒布活動、沿岸マツ林の保全活動等、いずれも「人の手が入ることが大切なのだ」と教えられる活動でした。

受賞された「大濠公園ガーデニングクラブ」の活動は低木・宿根草と一年草の組み合わせで費用を抑えつつもワールドコンテスト級の見栄えのする設計、また花の種類をQRコードで紹介するアイデア、民間企業の助成金を利用、企業のボランティア研修を受け入れるなどの、他の団体にも是非参考にしてほしい内容です。

また「箱崎花の会」の活動は、枯損して荒れてしまった街路樹の補植に始まり、給水のない街路で水を持ち寄り、小学生を取り込んで未来の後継者を育て、街路樹だけの時よりも楽しい街並みを創出しています。



審査の様子

「フラワーアップ高宮」の取組みは、小学校が軸となり、生徒、PTA、花に詳しい地域の有志が一体となって学校外周花壇づくりで街並みを明るくするとともに、卒業式や入学式、夏休みや日々の登校を思い出深いものになっています。

日本は美しい国です。それは街が清潔であることも意味しています。そこにボランティアの志が花となってあふれていました。皆様の一層のご活躍を願ってやみません。

審査委員長  
西日本短期大学 緑地環境学科 准教授  
高宮 さやか





# 緑のコーディネーターをご紹介します

市長の認定を受け、福岡の緑化推進のための活動を行う「緑のコーディネーター」は、現在213人が登録。それぞれのスキルを活かしての活躍ぶりをご紹介します。

# Green coordinator

## 緑を育てることは、人を育てること。



### 竹下 順子さん

イギリス滞在中に作り込み過ぎない、自然のままの草花の楽しみ方を知ることがきっかけで緑のコーディネーターに。その知識を活かし、人材育成やまちづくりに奔走中。

### ファッション×苔玉!! 次世代に伝えたいこと。

緑のコーディネーター5期生の竹下順子さんは、天神のど真ん中にある「ヒューマンアカデミー福岡校」の講師としてもご活躍中。ミシンやトルソーが並ぶ教室での、この日の授業はなんと、苔玉作り!?

ファッション科の学生のカリキュラムになぜ? 「植物を育てることで、やり遂げることや、地球に優しくという大切なことを学んでもらいたいです。植物に水をやり、毎日世話をするのは大変です。これは、子育てにも通じるといいますし、ひいては次世代につないでいくことにもな



ります。学生たちにはファッション一辺倒ではなく、もっと広い視野を持って欲しいんです」と竹下さんは想いを語ってくださいました。初めは少し戸惑い気味だった学生さんたちも、苔玉が出来上がる頃には優しい笑顔でいっぱい。

### 広がる、つながる グリーンパワー!

「緑のコーディネーターの資格を得たことで新しい人脈が広がりました。「植物が好き」という想いだけで集まったグループだから、会社とは違って損得勘定も上下関係もない。本音で付き合うからぶつかることもあるけど、楽しいですね。そこで仲良くなった人たちとリース作りや子ども向けのワークショップを開催したりと、緑を通じて、さらに人とつながり、活動が広がっていきます。

またあるときは、学校に面した道路に設置された企業が管理するフラワーポットの荒れ放



完成した苔玉たち。左からポトスの苗、コーヒーの苗、テーブルヤシの苗。育ってきたら大きな鉢などに植え替えます。



1 本日の講師は、一度レクチャーを受けた学生。材料の準備から全てを任せることで実践力がつき、みんなでやる機会を持ったことで、ひとつのチームが生まれます。2 簡単で楽しい苔玉づくり。材料は全部土に還るものを使用。3 学生の数だけ個性がある、完成品!

題なのを見かねて「手入れさせていただけないか」と直談判。学生を巻き込んで毎日、ゴミ拾いや花の世話をすることに。最初は渋々だった学生が、やがて率先して手入れするようになり、それを見た他の学生も手伝い始め、それは見事なクリスマスローズを咲かせることができたそう。こういった活動のエリアをもっと広げたいと竹下さんは意欲的です。

「勉強だけではなく、いろいろな経験をした学生が最終的には伸びる。緑を通して教育の

あり方を学ばせてもらったように感じます。植物の成長とともに人も成長できるんですね」という竹下さんに、緑のコーディネーターとしての夢を伺いました。

「ニューヨークのセントラルパークみたいに緑いっぱいの人々の憩いの場が福岡にも作れるといいですね。子育ては大変だけど、そこに行けばみんなが子育てをしてくれるような、そんなまちづくりができれば…その真ん中に緑があったらいいなあと思います」

### 福岡市緑のまちづくり協会では

### 緑のコーディネーターの養成・紹介・派遣を行っています。

緑のコーディネーターとは市の認定を受け、福岡の緑化推進のための活動を行う人です。現在213人が各自の得意分野を生かし福岡市内で活躍しています。協会が窓口となり、依頼に適したコーディネーターを紹介します。

#### 緑のコーディネーターの活動

みどりの講座講師	自然観察会ガイド	花や緑のアドバイザー
地域の花壇づくり指導	森の保全活動	緑化イベントのサポート

問い合わせ (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 TEL:092-822-5832



# 一人一花 ハッスル事業 はじまる!



一人一花ハッスル事業とは、  
緑のコーディネーターにより結成された  
団体が地域の企業や学校など様々な方々とともに、  
自主的に取り組む緑化活動に対して助成する新しい制度です。  
この事業は、福岡市緑化基金の運用益金などを財源に助成し、  
都市緑化推進に取り組む事業を支援するものです。  
平成30年度は、12団体の活動が認定されました。

問い合わせ (公財)福岡市緑のまちづくり協会  
みどり課 企画推進係 TEL:092-822-5832

## 賀茂小学校を花いっぱい一人一花

### フラワーボランティア遊花

賀茂小学校627名の生徒を対象に、学校長をはじめ学校の協力を得て、授業時間の中で学校内の花壇やプランターへ植え込みを行い、花いっぱいの卒業式、入学式をむかえた。



活動場所 / 賀茂小学校  
緑のコーディネーター他スタッフ / 前田郁子、中山くに江、フラワーボランティア遊花のメンバー(15人)  
参加人数(延べ) / 700人

## あいくるポタジェガーデンを作る!

### あいくるガーデン'S

福岡市中央児童会館(あいくる)の屋上庭園を活用したジャガイモづくりや牛乳パックを使った人参の育苗、来館した親子と一緒に花やチューリップの球根を植え、花壇づくりと維持管理を行い、親子で自然とふれあう体験を行なった。



活動場所 / 福岡市中央児童会館(あいくる)  
緑のコーディネーター他スタッフ / 米倉治美、古荘浩士、田中寛、吉村博、あいくるの職員、来館者  
参加人数(延べ) / 130人

## 四季の花舟〜一人一花マイプランターへ〜

### 樋井川グリーンメイト

朝倉市の被災木を活用し、グリップキャンペーン会場では花舟づくりを行なった。花舟には、3ポットの花苗を入れ、市役所、区役所をはじめ公共の場所へ100個配布した。



活動場所 / 長尾公民館他  
緑のコーディネーター他スタッフ / 角銅久美子、中西秀則、山崎博子、古荘浩士、吉村正雅、井上妙子、松永恵子、山本聡子、春岡須磨子、田中富夫  
参加人数(延べ) / 60人

## 天神花巡り&散策マップづくり

### 「一人一花」花巡り研究会

都心部の花修景でボランティア花壇やスポンサー花壇等の観察ができるように、市役所を起点にAコース、Bコースの2コースを外国人の意見も取り入れ、福岡市の25,000分の1の縮図でマップを作成した。



活動場所 / 天神〜博多  
緑のコーディネーター他スタッフ / 児玉緑、古荘浩士他6名、フラワーアップ・花まち研究会(4名)  
参加人数(延べ) / 180人

## 種から花へ 花から地域へ

### 福岡中央特別支援学校 花くらぶ

福岡中央特別支援学校の中学2年生13名の子どもたちと、プランターへの花植えや種から花を育てる活動を行なった。完成したプランターは子どもたちと一緒にリヤカーで地域の公民館・幼稚園・施設など6ヶ所に配達し、子どもたちと地域の交流を図ることができた。



活動場所 / 福岡中央特別支援学校  
緑のコーディネーター他スタッフ / 古荘浩士、金澤美恵子、諸隈アサ子、ボランティア6名  
参加人数(延べ) / 200人

## 子ども版「植物を10倍楽しむガイドプログラムづくり」

### 植物探検隊

福岡市植物園において、子どもが楽しめるガイドプログラムづくりを行なった。ビンゴゲームのようなメニューや、木の葉を使ったマイバッグづくり、タラヨウの葉を使ったお手紙大作戦などをイベントでも行い、プログラムづくりに参加した子どもへ最後に植物園長から参加者へ認定証の交付も行なった。



活動場所 / 福岡市中央児童会館(あいくる)、福岡市植物園  
緑のコーディネーター他スタッフ / 田中寛、米倉治美、吉村博、植物園ガイドボランティア(5名程度)  
参加人数(延べ) / 200人

## ハッスル!みつばちハッチ

### みつばちハッチ

西新公民館と西新緑地で花壇づくりと、プランターや鉢への植え付けを行なった。活動に興味を持ってもらうために、ミニリースアレンジや多肉植物の寄せ植え講座を催し、参加者へは育苗した苗の配布も行なった。



活動場所 / 西新公民館、西新緑地  
緑のコーディネーター他スタッフ / 宗和代、真方恵子、梅野夏子、田之上孝司、三島輝寿、山崎喜代子  
参加人数(延べ) / 88人

## 未来へつなげ 曲淵小学校

### まがりふち

平成30年度で休校となる曲淵小学校で、地域にのこせるよう、アジサイの挿し木や植樹方法を授業で取り入れてもらった。育てたアジサイは曲淵小学校周辺に植樹し、子どもたちも挿し木苗を持ち帰り、それぞれ次の学校へ持って行き育てよう活動を行なった。



活動場所 / 曲淵小学校  
緑のコーディネーター他スタッフ / 與田こずえ、荒岡晴信、曲淵小学校PTA、曲淵小学校児童・卒業生  
参加人数(延べ) / 197人

## あじさいのように咲きほこれ

### 次郎丸中学校女子バレー部アジサイプロジェクト

次郎丸中学校の校章でもあるアジサイを、女子バレー部が中心となり、地域や後輩に残せるよう挿し木から育て、学校の周りに植樹した。また、女子バレー部の他、ラグビー部、剣道部、女子ソフトテニス部、卓球部も参加し、種から花苗を育て、学校内の花壇やプランターへ季節の花苗の植え込みも行った。



活動場所 / 次郎丸中学校  
緑のコーディネーター他スタッフ / 荒岡晴信、與田こずえ、女子バレー部監督、バレー部員、職員、他関係部活生  
参加人数(延べ) / 120人

## いけ花展示・いけばな教室開催

### 華しるべ ミカサ会

早良区役所庁舎1Fロビーに、季節に応じた花を楽しんでもらうために、繁忙期以外は、毎週月曜日から金曜日まで展示を行った。また、中村学園大学の学祭では、フラワーアレンジメント講座も開催した。



活動場所 / 早良区役所、中村学園大学  
緑のコーディネーター他スタッフ / 藤田美春、小寺福代、斎藤愛子、他協力者3名  
参加人数(延べ) / 200人

## 一人一花寄せ植え体験

### ぐりーんぱんだ

子どもたちが土に触れる機会が少ない中、花や緑に親しむ楽しさを知る機会をつくるため、植え込む苗、肥料の説明後、プランターへの植え込みを行った。



活動場所 / 舞鶴公園、油山牧場 他  
緑のコーディネーター他スタッフ / 坂本憲治、宮本るみ、他6名  
参加人数(延べ) / 200人

## 一人一花まごころ花壇

### ふくおか花と緑の連絡会

施設入り口のガードレールには、利用者と一緒に作成したペットボトルハンギングを飾り、玄関横の何も育たなかった場所には、多肉植物や地域の方の協力で作成した燈明を飾り、枯山水を完成させた。食堂から見える花壇の整備や利用者向けに毎月講座も行った。



活動場所 / 愛心の丘(特別養護老人ホーム)  
緑のコーディネーター他スタッフ / 田中節子、田浦和月、梅津正子、会員1名、愛心の丘利用者・職員  
参加人数(延べ) / 150人



緑のまちづくりにお家やお店ごと取り組みませんか?

# 民有地の 緑化助成します

緑のまちづくりを進めるため  
道路から見える緑化の施工費用の一部を助成します



早良区 峰平様  
カフェ マーノマーノ

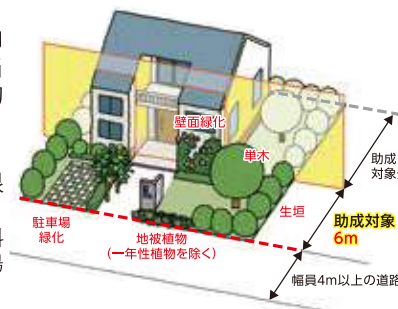
## 助成の対象

- 道路(幅員4m以上の公衆用道路)から見える緑化(単木、生垣、地被植物、駐車場緑化、壁面緑化)。
- 道路境界から6m以内の場所に新たに行う緑化で、緑化面積の合計が5㎡以上ある。
- 福岡市内の民有地で、地目が宅地である。
- 申請前に緑化工事が未着工。
- 2020年3月23日までに緑化工事完了及び事業実績報告書の提出ができる。



## 助成金額

- 道路境界から6mの範囲内の緑化施工費用の1/2に相当する金額を助成。(千円未満切り捨てとします。)
  - 助成金の上限は20万円。ただし緑化面積当たりの上限額があります。
  - 既存のものを流用する場合の材料費や、工事を申請者自らが行う場合の工事費は対象外とします。
- 助成対象となる緑化施工費用  
①植物及び土壌、肥料、支柱等の材料費  
②緑化工事費  
③壁面緑化の誘引資材及び灌水施設等の材料費及びその工事費  
④①から③を対象とする諸経費



## 助成を利用された方のお声

### 庭掃除をしていると「緑がいいね!」と声を掛けられます 博多区 T様

家本体にはお金をかけるけど、外構にはなかなか資金が回らないことが多いと思います。しかしこの助成金のおかげで外構にお金を回すことができ、大変助かりました。ご近所の方々と植物を通じて会話も弾み、庭掃除をしていると「緑がいいね!」「ホッとします、ありがとう」等と声を掛けられます。申請は規制をクリアするのに気を遣いましたが協会職員の方とよく話し合っただけで進めました。植栽しているものは全て自分で選んでいます。手入れは大変だけど、1本樹木があるだけで美観もやすらぎも感じられるし、季節感を感じられるのはとてもいいですよ。



植栽しているものは、カツラ、アオダモなど山に生えているようなものを選ばれたそうです。

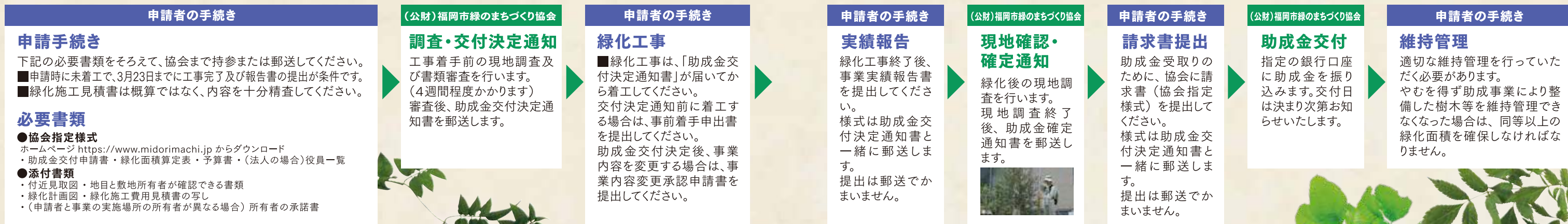
### 難しいかな、大変かな、と思わずに どんどん利用すべき! 早良区 峰平様

カフェを始める時に、豊洲に参考にしたい建物がありました(マギーズ東京)。がん患者さんがぶらっと立ち寄って話していただける場所です。訪問看護師の秋山正子さんが「黙っていても緑があれば言葉が出てくるし、窓の外に緑が見えると癒される。」と仰っていたので、人工物ではなく、緑化にしました。この庭を見て癒されるという声を聴きます。これから助成を受けることを考えていらっしゃる方は、難しいかな、大変かな、と思わずにどんどん利用すべきだと思います。助成金が出る分緑を増やすことが出来るので、充実感が変わりますよ。街中に緑があるのはいいことです。



通る人が、カフェと知らなくても緑が多いお家だな、と見てくれるそうです。

## 申請から助成交付までの手続きの流れ



問い合わせ (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係  
TEL:092-822-5832



<https://www.midorimachi.jp>

緑のまちづくり協会 検索





緑のまちづくり協会では福岡市が花と緑あふれるまちとなるように花や緑に関する様々な事業を行っています。

## 都市緑化などの推進(花と緑によるまちづくりの推進)

**緑化活動団体を支援** 市民活動団体が自主的に取り組む緑化活動を支援しています。

**活動費を助成しています。**

### 地域の森づくり

市内にある樹林地などで樹木の間伐、剪定などによる森の保全、市街地に植樹を行うことによる緑の名所づくりに取り組む団体に助成金を交付。



### 地域の花づくり

市内にある公園や道沿い、駅前などで花壇づくりを行う団体(花壇などの面積が10㎡以上)に助成金を交付。



## 緑のコーディネーターの養成・紹介・派遣

### 紹介・派遣

緑のまちづくり協会は、市から依頼を受け、花壇づくりや樹木ガイド、花やみどりに関する体験講座などの講師として依頼に適したコーディネーターを紹介しています。



### 養成講座の実施

緑に関する一定の知識・技術がある方を対象に、緑のコーディネーター養成講座全10回を実施しています(講座は隔年開催)。



## 緑のコーディネーターによる体験講座や自然観察会の開催



バラを楽しむ(市民センター)



自然観察会(舞鶴公園)

### 緑のコーディネーターとは

市民協働による緑のまちづくりを推進するために、緑のコーディネーター養成講座を修了した方を対象に緑のコーディネーターとして市が認定した方々で、緑化活動のリーダーや体験講座の講師などで活躍しています。詳しくはP11へ

## 緑に親しむイベントやコンテストなどの開催など

### グリップキャンペーン

毎年10月に都市緑化啓発イベントを開催。緑のまちづくり協会が事務局を務めています。



### 一人一花スプリングフェス

4月に警固公園で開催される緑化啓発イベントを共催。



### 花と緑のまちづくり賞、花と緑のまちかど写真コンテスト

緑化の啓発を目的に、緑のまちづくり協会が実施するコンテスト。



**緑化助成** 緑あふれる街並みの形成を目的として、道路から見える私有地緑化に助成します。



## 都市緑化基金の運営

### 情報誌「まちとみどり」の発行

### 調査研究

都市緑化に関する調査研究を行っています。



## 街路樹などの維持管理(良好な都市環境の創造、安心・安全なまちづくりの推進)

街路樹維持管理の設計・監督、市民要望対応、巡回点検、応急作業などにより、街路樹を健全に育成・管理するとともに、道路空間における市民の安全を確保するための業務を行っています。



危険箇所の応急作業



街路樹診断



夜間立会い

## 東平尾公園の管理・運営(指定管理)



博多の森陸上競技場



競技場の芝生管理(レベルファイブスタジアム)

### バックヤードツアー

日頃入ることができない選手ロッカールームやスタンドの舞台裏など、リニューアルしたレベルファイブスタジアムを見学。ウォーミングアップ場で選手気分を体験したり、芝生の管理作業もみる事ができます。



詳しくはHP [レベスタバックヤードツアー](#)

検索

## 舞鶴公園の管理・運営(指定管理)



イベント開催(福岡城藤まつり)

### 舞鶴公園でバーベキュー

今年も舞鶴公園にバーベキュー施設がオープンしています。手ぶらでもOK、食材や飲み物を持ち混んでも大丈夫です。2019年は11月末まで。詳しくはHPをご覧ください。

<http://green-majic-maizuru.jp/>



## 緑のまちづくり協会駐車場・公園などにおける便益施設管理運営

### 収益事業について

緑のまちづくり協会では、駐車場や、公園便益施設などの管理運営を行い、都市機能の増進および公園利用者の利便を図るとともに、その収益金を都市緑化推進事業の財源として活用しています。



接道部分を花壇にした駐車場



公園自動販売機



福岡市植物園展望台カフェ



## 花と緑につつまれたまちづくりを支える 福岡市都市緑化基金

福岡市都市緑化基金は、(公財)福岡市緑のまちづくり協会が運営母体となり、市民のみならず民間企業からいただいた寄付金を積み立て、その運用利息等を利用して、都市の緑化を進めるための基金です。

### 基金のしくみ



※福岡市都市緑化基金の運用から生ずる収益金および目標額を超える寄付金等

### 基金で取り組む事業

基金の運用利息等を財源として民有地の緑化を推進するために、次の事業に取り組んでいます。

<b>緑化助成事業</b> (民有地緑化の助成) <ul style="list-style-type: none"> <li>道路境界から6mの範囲内の緑化に対する助成</li> </ul>	<b>緑の活動支援事業</b> (緑化活動団体の支援) <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の森づくり助成</li> <li>地域の花づくり助成等</li> </ul>	<b>都市緑化の普及啓発</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>花と緑のまちづくり賞</li> <li>花と緑のまちかど写真コンテスト</li> <li>グリップキャンペーン</li> <li>広報物発行等</li> </ul>
--	---	---

詳しくは緑のまちづくり協会ホームページをご覧ください。

### 寄付・募金のお願い

基金の募金箱は福岡市植物園、福岡市情報プラザ(福岡市役所1F)などに設置しています。みなさまのご協力をお願いします。

### スポンサー花壇事業のご案内

#### 福岡都市部に「皆さまの花壇」を持ちませんか？

福岡市では、市民や企業・行政が力を合わせ、花と緑を育てることで、まちが彩や潤いにあふれ、誰もが福岡に親しみや愛着を持ち、豊かな心が育まれる一人一花運動の一環として、歩道や中央分離帯などに、花を植え、街を彩るために協賛いただけるスポンサー企業を募集しております。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。福岡市一人一花推進課 092-711-4424



福岡市スポンサー花壇

#### 寄付金の税控除について

「福岡市都市緑化基金」に対する寄付には、所得税、福岡市の個人住民税で、寄付をした翌年の寄付金税額控除の適用が受けられます。(手続きなど、詳しくは、お気軽にご相談ください)

#### 募金についてのお申し込み・ご相談は

(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係  
**TEL:092-822-5832**

ぐるぐる Vol.17  
作・まつうらかなこ

福岡市花と緑のマスコットキャラクターグリップのお話

ささやかな貢献の巻

のどがかわいたなあ。お水買おうっと！

グリップ自販機で買ってきてありがとう

どうしてお礼を言うの？ このお金の一部が私たちの緑の活動の助成金になるんだ

グリップ自販機で街ものどもうるおうね！

\*グリップ自販機は、市内の公園に設置されています

<b>協会本部事務所</b>  〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-3-26 福岡タワーセンタービル2F TEL 092-822-5832 FAX 092-822-5848	<b>東平尾公園管理事務所</b>  〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-2 (陸上競技場入口) TEL 092-611-1515 FAX 092-611-8988	<b>舞鶴公園管理事務所</b>  〒810-0043 福岡市中央区城内 1-4 (陸上競技場入口) TEL 092-781-2153 FAX 092-715-7590
--	---	--

公益財団法人 **福岡市緑のまちづくり協会**

www.midorimachi.jp

緑のまちづくり協会